





日までの29日間の会期で開催 は、 成26年第3回定例会 9月2日から30

決算認定や一般会計 日には、 告などが行われ、そ 行政視察報

署長の資格を定める条例の制 件が提出されました。 報告2件、諮問1件、 定」など17議案と認定11件 請願2

補正予算、「消防長及び消防

質問には11名の議員が登壇 災害対策など、執行部と活発 し、過疎化対策や遊具の使用 わたり行われた一般

傍聴人数

第1回定例会

第2回定例会

第3回定例会

第4回定例会

第1回定例会

第2回定例会

第3回定例会

な論戦を展開しました。

10~20ページ参照

建設の3常任委員会 務・厚生文教・産

た16議案と請願2件につい が17日に開催され、付託され 慎重に審査しました。

員会の委員長報告が 終日には、3常任委

それぞれ行われ、 認定11件を原案のとおり可決 議案17件、

64 人

73人

37人

41人

48人

35人

69人

方々が傍聴に訪れました。

今定例会には、延べ69人の

月8日から3日間に

## 子ども・子育て支援法の規定に基づき

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の 運営に関する基準を定める条例の制定について

## 子育て支援の充実を図るため、条例を整備



三重幼稚園

に必要な生活水準を確保するた 精神的及び社会的な発達のため めに定められた基準です。 これらの設備や運営の基 利用する子どもの身体 的

幼稚園、 となる条例を制定するもので 認定こども園、 が定める基準を踏まえ、 や地域型保育事業の基準 保育所、

## ·般会計補正予算(第4号)

## 45/5/6



《一般会計予算総額》

266 億 9064 万 3 千円



## 市道維持補修工事請負費

5000万円





市道高津原中道線道路拡幅工事、市道三重原大屋線側溝布設工事など(他多数)

## 道の駅「あさじ」休憩テラス改修工事請負費 609万3千円



休憩テラスを舗装改修するものです。

## ツーリズム協会補助事業



主にツーリズム協会設立に伴う助成です。 観光協会は解散し、11月からツーリズム 協会となります。

【その他の主な事業】

基金運営管理事業 立木被害森林緊急整備事業

8140万7千円 853万2千円

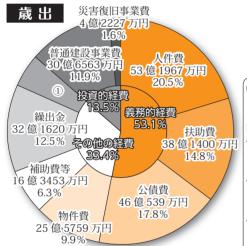




され、 を審査しました。 水道 日と25日 9 認定されました。 月 病 算 般会計、 30 院事業特 0) 定 れ 特 2 H す b 員 别  $\bar{\mathsf{H}}$ 0 慎 べ 長 委 間 本会議で き 重 員 別会計 特別会計、 審 \$ が 会 わ 査 0) 0) ح 小 9 0 n 結 決定 月 野 決 開 果 **F**. 催 22 順

決算特別委員会の様子

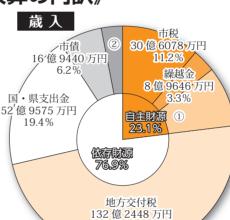
## 《一般会計決算の内訳》



①その他の経費 12億1522万円 (4.7%)

【内訳】

- ◆維持補修費 2億88万円 (0.8%)
- ◆積立金 8億8388万円 (3.4%)
- ◆投資·出資金·貸付金 1億3046万円 (0.5%)



48.3%

- ①その他自主財源 23 億 6908 万円(8.6%) 【内訳】
- ◆分担金及び負担金 4億7795万円(1.7%)
- ◆使用料及び手数料 5億1150万円(1.9%)
- ◆財産収入 6763万円 (0.2%)
- ◆寄附金
- 3322万円 (0.1%)
- ◆繰入金 9億1582万円 (3.4%)
- ◆諸収入 3億6296万円(1.3%)
- ②その他依存財源 8億1408万円 (2.9%) 【内訳】
- ◆地方譲与税 3億5047万円(1.3%)
- ◆交付金 4億6361万円(1.6%)

258億5050万円

合計 273億5502万円

## 《各会計の決算状況》

	会 計 名	歳 入	歳 出
	一 般 会 計	273億5501万6千円	258億5049万9千円
	国 民 健 康 保 険	53億9883万2千円	52億4391万2千円
	後期高齢者医療	5億6923万6千円	5億6685万8千円
	介 護 保 険	65 億 6446 万 1 千円	64億1610万8千円
特	農業集落排水	2億4016万2千円	2億3455万3千円
特別会計	公 共 下 水 道	1億 1万4千円	9370万6千円
部	净 化 槽 施 設	4824万9千円	4673万3千円
	簡 易 水 道	3億3350万7千円	3億1319万9千円
	太陽光発電事業	7億7309万4千円	6億8846万1千円
	計	140億2755万4千円	136億 353万 円
	合 計	413億8257万1千円	394億5402万9千円
	会 計 名	歳	歳出
介	収益的収支	2億5200万2千円	1億8715万4千円

## 地方債(借金)

## 一般会計・特別会計

		_	`									
会	Ē	計	名		平成24	年度末	現在高	i 平	成2	5年度	末現	在高
_	般	会	計		303 億	5315万	5千	月 27	7 億	9546	万6	千円
介	護	1	保	険		8666万	6千	円		4333	万3	千円
農	業身	長 落	排	水	12 億	7504万	1千	円 13	2 億	1054	万3	千円
公	共	下	水	道	5億	207万	9千	円 .	4 億	5946	万5	千円
浄	化	槽	施	設		7484万	1千	円		6777	万3	千円
簡	易	,	水	道	14 億	9360万	6千	円 13	3 億	6191	万 9	千円
上		水		道	7億	7436万		円 13	2 億	8283	万7	千円
病	院	-	事	業	30 億	1908万	· F	円 30	) 億	8349	万 5	千円
£	1		計		375 億	7882万	8千	円 35	3 億	483	万 1	千円

## 基金(貯金)

浄化槽整備推進事業基金

簡易水道事業基金

	基 金 名	平成24年度末現在高	平成25年度末現在高
	財政調整基金	51億 515万7千円	55億7828万2千円
般	減 債 基 金	17億9261万2千円	17億9449万9千円
会計	その他特定目的基金	82億 57万6千円	81億4549万1千円
ĦΙ	その他定額運用基金	7億2083万 円	7億2083万 円
	国民健康保険基金	6975万2千円	6976万6千円
	高額療養費貸付基金	500万 円	500万 円
胜	出産資金貸付基金	300万 円	300万 円
特別会計	介護給付費準備基金	4億1037万3千円	4億3131万9千円
会	農業集落排水事業基金	7951万4千円	5005万6千円
ijΓ	公共下水道事業基金	538万7千円	418万7千円

357万3千円

164億8785万5千円 168億9696万

9208万1千円

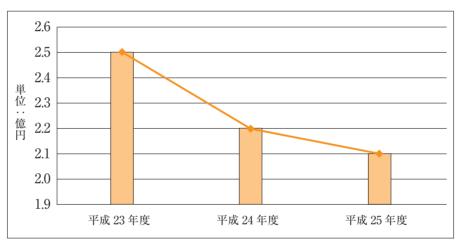
一般会計

240万9千円

9212万1千円

## 《議会費の推移》

よるものです。 よる公費負担が減少したことなどに 等の減少や、 少しています。 これは、 議員定数削 議 員年金 制 減による 度 0) 廃 止 報



らである

判断比

率については、

営改善に向けた一層 円の損失となっており、 事業は1億1507万9千

0

取

経

財政運営状況を見る健

計上しているものの、

病院

前年度に比べると1  $\overline{4}$ 42万 흼 13 酬 減

等の増加により23・1% 9696万円となっている。 万5千円増加し、 主財源比率が基金繰入金 基金については、 前年度より4億910 収入については 168億 28基金

赤峯和憲代表監査委員

比率、実質公 0ポイント好転しており、 と認められた。 財政は健全化の方向にある 常収支比率 (8・0%) も1: 国の示す早期健全化基準以 将来負担比率全てにおい 下であり良好といえる。 実質公債費比率及び 連結実質赤字 経

ら、住民福祉向上のために財政の健全化を確保しなが り組みを強化しながらも、 組みを期待する。 各種施策の推進を希望する。 始まる。 特例が終わり、 あと1年で交付税 行財政改革への 階段落ち 合 取が併

監査委員の意見

事業開始は、平成26年度かいるが、太陽光発電事業の 加わり8特別会計となって 太陽光発電事業特別会計が 決算であった。本年度より 会計及び7特別会計の決算 ついては、 本市の平成25年度の いずれも黒字

また、 率の向上を期待する。 されていた市営住宅使用 水道事業は当年度純利益を れることから、 住宅供給公社へ管理委託さ は、平成26年度より大分県 企業会計については、 収納率の低下が懸念 今後の 収 納

防長及び消防署長の資格の基準を とに伴い、これまで、市町村の消 署長の任命の際に必要な資格につ れたことにより、消防長及び消防 関係法律の整備に関する法律が成 るための改革の推進を図るための てきたところを条例制定するも 定める政令を参酌しながら運用し して条例で定めることとされたこ いては、政令で定める基準を参酌 |し、消防組織法第15条が改正さ の自主性及び自立性を高



消防署

3 3 

## )集団的自衛権行使容認の閣議決 定の撤回を求める請願

める条例の制定について

消防長及び消防署長の資格を定

に対して、その撤回を求める請願今回は閣議決定という新しい事態 閣が進める集団的自衛権容認に反6月定例会で議論した「安倍内 行いました。 であることを踏まえ、 対する請願書」についての経過と、 自由討議を

以下、主な意見と討論。

をされているので、「撤回」といあったとは思うが、もう閣議決定 定について、拙速すぎる部分が 議論をしていただきたい。閣議決議 へ回も閣議決定後、慎重に う意見書についてはどうかという 気がする。

から、 集団的自衛権に関して賛成の立場 る必要があるのではないかと思う。 反対 は何をするべきか今一度考えてみ いものを感じており、 いる近隣の国の脅威にはすさまじ この請願には反対する。 現実には武力強化を図って 現在の日本

## )特定教育・保育施設及び特定地 準を定める条例の制定について 域型保育事業の運営に関する基

ために、条例を整備するものです。 児童を少なくするとともに、女性 が働きやすい環境を整備していく 子育ての充実を図り、 また待機

## 把握していくのか。 行政としてどのように苦情を

らの自主的な報告を求めるようには、別に定めるが、定期的に園か は、答 したい。 今後、細かい決まりについ 7

## ●太陽光発電事業特別会計補正予 算について

り出すものです。 前年度の繰越金を一般会計に繰

ているが、九電への負担金につい の変電所の関係で売電開始が遅れ ては、当初の負担金で賄えるのか。 大野の第5発電所は、西大分

9万円であり、 からない状況である。電所は、もう少し経過しないと分 第4発電所は、 まだ分かっていないが、第1から 2328万7349円の支払いを 金の契約を交わしている。全部で 生しない発電所もあった。第5発 かかるということで、精算金額は 5発電所は、工事が12月中旬まで て、本年度支払うことになる。第 済ませている。最終的には精算し 平成25年度中に九電と負 追加の負担金が発 精算金が全体で

るのか。 は、個 計画どおりに売電ができてい売電している4つの発電所

3500万円の収入があった。 になると予想している。 ば、当初予算の1億円に近い数字 第5発電所も早めに発電できれ 900万円を超した月もあった。 一月当たり700万円となり、 8月末までの5カ月間に

見直しに関する請願●豊後大野市一般廃棄物処理計画。●他、7議案

## **議会だより 声のかけ橋** (第42号2014.11) 6

## 公共下水道特別会計補正予算に

円とするものです。 歳出それぞれ9268万5000 加し、歳入歳出予算の総額を歳入 それぞれ131万4000円を追 歳入歳出予算の総額に歳入歳出

をしているのか。 と思うが、どういった内容の修繕 これまで修繕は実施している

み上げるポンプが故障したため、 
谷 大野浄化センターの汚泥を汲 修理に100万円ほど使っていま

## ・手数料条例の一部改正 【その他の付託案件】

市道路線の廃止 市道路線の認定

## ●簡易水道特別会計補正予算につ

更するため、委託料を870万円 ということで300メートルに変 掘削工事を200メートル予定し 源調査委託料としまして、当初、 ものです。主な歳出として新規水 3億2294万8000円とする の円出 追加計上するものです。 ていましたが、追加が必要である それぞれ1994万700 総額を歳入歳出それぞれを追加し、歳入歳出予算 歳入歳出 予算の総額に歳 0 入 0 歳



千歳簡易水道の水源調査を実施

あなたの意見や要望



## 請願·陳情

公共施設の保守点検業務さえ競争入札が行われていな 保守点検及び清掃業務を一括しての契約とするため、 新たな許可業者を増やす必要はないとしている。また、 処理計画に基づき適正に行われ、人口の減少傾向から 市は一般廃棄物の収集、運搬及び処分は一般廃棄物

とは市民感覚から大きく乖離することであり、 数の市民の声として反映するため、 議会、市民による協議会を立ち上げ、この問題を大多 現行の許可業者は継続して一社であること、このこ 次の2点を請願す 行政、

市民の不利益につながるものである。

い現状である。このことは競争原理を排除することで、

立する。 保守点検・清掃業務を区別して競争入札制度を確 社独占を前提としたし尿、 汚泥処理計画の検証

2

1

# 集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める

主義に根本から違反するものである。 れるはずの政府が閣議決定で行うということは、 容認という、 る法律の整備、立法化に着手した。集団的自衛権行使 立を全うし、 民にはかることなく、しかも憲法99条で憲法に拘束さ 法制の整備について」との閣議決定を強行し、 安倍政権は、 憲法の基本原則に関わる重大な変更を国 国民を守るための切れ目のない安全保障 集団的自衛権行使を容認する「国の存 関連す

求める意見書の提出を求めるものです。 よって、集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回

豊後大野市一般廃棄物処理計画の見直しに関する

## 各議員の議案に対する賛否の状況

※○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 除=除斥 小野泰秀議員は議長職のため表決権はありません。

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	会派名	C/III	121.		_		緑正	か会					-	風ク			,,,,,	_	_	ク	_			
作名		議	議	去	ıl.	E	эk	<b>浩</b>	н	ıl.	111	古					<i>I</i> +-					<b>-</b>	护	±.
作名   月 日   元 順 健 義 正 俊 勇 優 豊 辰 一 照 寿 徳 竜子 美	議員名	決	決	藤	小野	文野	音 掛	闹藤	田田	小野	野野	向山	佐藤	没辺	生野	呂成	佐藤	闹藤	忠藤	呂成	<b></b> 別	上藤	/	赤峰
一		結	月																千				那	
平成 25 年度一般会計議入歳出決算認定   3月30日   ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	件名	果	日	止光	順一	健児	義範	止宏	役和	男治	懓治	豊吉	反己	文	照雄	寿男	偲宣	竜哉	代子	昭義	秀康	生	) 寛	映洋
平成 25 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 認定 9月30日	人権擁護委員候補者の推薦	適任	9月 2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	$\bigcirc$
平成 25 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 認定 9月30日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成25年度一般会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	$\circ$	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	×	$\bigcirc$
平成 25 年度   26 日   26	平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	9月30日	$\circ$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	0	$\bigcirc$	0	$\bigcirc$	×	$\bigcirc$
平成 25 年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定       9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成 25 年度後期高齢者医療特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	$\circ$	0	0	0	0	0	0	$\circ$	$\circ$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	×	$\bigcirc$
平成 25 年度公共下水道特別会計歳入歳出決算認定       9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	9月30日	$\circ$	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	×	$\bigcirc$
平成 25 年度浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定       認定       9月30日       ○	平成25年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$
平成 25 年度簡易水道特別会計蔵入歳出決算認定       認定 9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成25年度公共下水道特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\circ$	$\bigcirc$
平成 25 年度太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定       3月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成25年度净化槽施設特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$
平成 25 年度上水道特別会計歳入歳出決算認定       認定       9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成25年度簡易水道特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	$\bigcirc$	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$
平成 25 年度病院事業特別会計歳入歳出決算認定       割月30日       ○       <	平成 25 年度太陽光発電事業特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$
消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定   可決 9月30日   〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	平成25年度上水道特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定       可決 9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	平成25年度病院事業特別会計歲入歲出決算認定	認定	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\overline{\bigcirc}$	$\bigcirc$
運営に関する基準を定める条例の制定       可決 9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定	可決	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準 を定める条例の制定       可決 9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		可決	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	$\circ$
る基準を定める条例の制定       可決 9月30日       〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準	可決	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	×	$\circ$
母子及び寡婦福祉法の一部改正に伴う関係条例の整備       可決 9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関す	可決	9月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$	0	0	0	0	0	0	0	0	$\circ$
中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援 に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備       可決 9月30日       ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		可決	9月30日	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$			$\bigcirc$
手数料条例の一部改正       可決 9月30日       〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援														_		0			0	0	0	0	0
市道路線の廃止     可決 9月30日     〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		可決	9月30日	$\cap$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\cap$	$\cap$	$\bigcirc$	$\cap$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\cap$	$\cap$	$\cap$	$\cap$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	$\bigcirc$		
市道路線の認定       可決 9月30日       〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	· 201112111			-	-		-		$\rightarrow$	-	_	-		_		-	-	_	_	-	$\overline{\bigcirc}$	$\tilde{\cap}$	$\tilde{\cap}$	$\overline{\bigcirc}$
平成 25 年度上水道特別会計未処分利益剰余金の処分 可決 9月30日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				_	-		_	$\vdash$			_	$\rightarrow$	-				-	_		-	$\bigcirc$	Ŏ	Ŏ	Ŏ
				$\overline{\bigcirc}$	$\bigcirc$	$\bigcirc$	0	0				-	$\overline{\bigcirc}$			_	$\overline{\bigcirc}$	$\bigcirc$	$\overline{\bigcirc}$	$\bigcirc$	$\overline{\bigcirc}$			$\overline{\bigcirc}$
	平成26年度一般会計補正予算(第4号)			0	0	0	0	0	-	0	$\overline{\bigcirc}$	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	Ŏ	Ŏ	Ŏ
平成 26 年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 可決 9月30日 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇				Ō	-	0	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	Ō	_	-	-			Ô	Ō	Ō	Ō	Ŏ	Ŏ	Ō
平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)可決9月30日 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				Ō	Ō	Ō	0	Ō	O	Ō	Ō	Ō	Ō	0	Ō	Ō	Ō	0	Ō	0	Ō		Ō	
平成 26 年度公共下水道特別会計補正予算(第1号) 可決 9月30日 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇					F	0	0				_		-					0						
平成 26 年度簡易水道特別会計補正予算(第1号) 可決 9月30日 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				_	_	Ō	_	-	-	-	_	$\vdash$	$\rightarrow$	$\rightarrow$			ř.	_	$\stackrel{\smile}{-}$	-	Õ	Ŏ	Ŏ	Ó
平成26年度太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号) 可決 9月30日 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				-		-		_			_	-					Ó	Ó	Ó	Ó	Ó			Ö
平成 26 年度病院事業特別会計補正予算(第1号) 可決 9月30日 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				-	-	-	Ó		_	_	_	_	_	-		_	_	_	_	Ó	Ó		Ö	Ó
集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める請願 不採出 9月30日 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×				X	X	X	×	-		-	_	$\vdash$	×	X	×	X	X	×	×	0	×			
豊後大野市一般廃棄物処理計画の見直しに関する請願				0	×	0	0		0	0	$\bigcirc$	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×



たべ ひろし **小田部 博氏** 

任期 自:平成27年1月1日 至: 平成 29 年 12 月 31 日

【千歳町高畑】 生年月日 昭和24年 1月25日







## 衞藤竜哉(10ページ)

- ・市内の道路環境整備は不十分ではないか
- ・避難指示・避難勧告等の危機管理体制は

## 朝倉秀康(11ページ)

・どうする過疎化対策

## 衞藤正宏(12ページ)

- ・市民病院の役割は
- ・改革が本市の将来を左右

## 恵藤千代子(13ページ)

- ・リバーパーク犬飼「ブリュッケン城」の 使用再開は
- ・利用がない奨学金・入学準備金貸付制度

## 小野勇治(14ページ)

- ・葬儀に市長夫人が代理参列することは 法に抵触しないのか
- ・総額 8.000 万円が使われた地域雇用創造 事業の成果と継続は

## 赤峰映洋(15ページ)

- ・ふるさと納税の本市における重要度は
- ・女性の更なる活躍促進は
- ・リバーパークの遊具再開は

## 内田俊和(16ページ)

- ・市長の政策活動について
- ・中堅職員研修、食のモデル地域育成事業の 事業展開の活動について

## 佐藤辰己(17ページ)

・今後の人口動向と将来像

## 神志那文寛(18ページ)

- ・「里見発見伝 | 事業での成果物を生かせ
- ・ジオパーク関連番組を、ビデオや DVD で 市民に広げよう
- ・戦争体験集を作成し、戦争体験を未来へ 伝えよう

## 宮成昭義(19ページ)

- 社会福祉の拠点施設の計画は
- ・災害時における市の対応のありようは

## 川野優治(20ページ)

・浄化槽の清掃・汚泥の処理を一社独占 体制で行うのは妥当か

※ 一般質問=議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、 本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っている。

~ 市職員全員と郵便局員に対しても

情報提供を依頼したい~

通しますが、

案内板等

のか。

の設置要望をしている

現状を調査し、 もっと迅速、 ④市道の維持管理の 適正にす 補修等

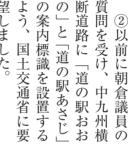


て問う。 道路網の整備につい

いよいよ朝地町まで開 やすべきでは。 道路脇の除草作業を増 ②中九州横断道路が ①支障樹木の除去や

の要望を。 ある三重新殿線、 緒方朝地線の道路改良 大野線、三重野津原線、 ③県道の主要幹線で 緒方

望しました。



えます。



たっ竜

哉

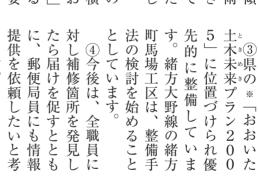
と藤

ています。











市道井上原線

## 避難指示。避難勧告等の

防災・減災体制の強化に努める

引き続き防災・減災体 害がいつ発生しても 振りも想定されますがを発令しました。空 心して生活できるよう 害から市民を守り、 かしくありません。 異常気象により自然災 に判断していきます。 地区の一部に避難勧告 命を守る」を最優先 8月に緒方町長谷川 の強化に努めます。 災 安 お



## 総務課長

難体制は大丈夫か。 地域もある。 れ避難勧告が出された 失うほどの状況であり、 砂災害が発生し言葉を 本市でも豪雨に見舞わ 発的豪雨に大規模な土 今年は日本全 市民の 国 避

※おおいた土木未来プラン 2005 = 大分県土木建築部策定の長期計画。公共事業を実施する必要性や重要性について、「安心して生活できる県土づくり」、 「交通ネットワークの充実」、「快適な生活環境の創造」という3つの節に整理し、社会資本整備を戦略的に進めていく道筋を示したもの。

## で秀 くら倉 あす朝

市民クラブ

本理念になっていると

くというのが大きな基

雇用の場を確保してい 進を図って、地方への

いけないと思っていま対応していかなければ でありますので、 うものが法案の中に織 思います。 の中身を見ながら市も り込まれるということ 今後、総合戦略とい 法案

> ※その他の質問 全国神楽大会に 7

## する過疎化対策

全庁あげて取り組む ~

ある。 命し、地方活性化を最 安倍内閣改造で石破茂 問題だったが、今回の らうために取り上げた 国市長会へ要請しても 優先に取り組む姿勢で 氏を※地方創生大臣に任 して取り上げるよう全 過疎化対策を国策と

まちづくり推進課長

考えるが。

中身は、人口減少に歯 法案を成立させたいと ち・ひと・しごと創生 いうことです。法案の 政府は今年の秋にま

働き場をつくることも 生かした持続性のあるが、地域の中で資源を されるかと思います 必要と考えます。 業は経済情勢等が左右 企業誘致ですが大企

はまさに地域を一緒に

所職員へ、このメンバー

つくっていく仲間であ

策として、

出産、子育

止めをかけるための施

この思いでこれか

てがしやすい社会づく

ベンチャー等の促

をつくり、70名の事務

しごと創生本部事務所

また、まち・ひと・

の国の施策をどのよう 訓示を行っている。そ 尽くしてもらいたいと、 こで本市として、今回 に受け止めているのか。

ら地域の ために全力で

どのような企業が必要 策をとるということで か事前に検討すべきと あるが、本市にとって き場を地方に移す国 国はあらゆる部分の

## 商工観光課長



旧温見小学校(朝地町)

※地方創生大臣=先の内閣改造により、新たに設けられた。

## 市民病院の役割は

## ∼ 魅力的な地域の病院を目指す ~

くのか。 肥地域の中核病院とし 接する竹田市を含む豊 でいく豊後大野市、 て、今後どう進めてい 超高齢化社会に進 隣



T s と藤 衞

緑 政

の職種間、医療、 す。 連携が不可欠です。 日本をあらわしていま 正な医療の提供と在 地域を支える医療 自治体間の 介護、福祉 適

会においては40年先の 豊肥地域は高齢化社

病院事業管理者

院を目指します。また、持って働けるような病的で職員がやりがいを 環境の改善に努めたい医療環境の整備、就労 と考えます。 の皆さまにとって魅力宅医療を推進し、住民



市民病院

## 改革が本市の将来を左右

市民の理解と協力を ~

う。 捗率と今後の計画を問 公共施設整理統合の進 く重要な課題である。 る将来の財政基盤を築 ンの達成が本市におけ 第二期集中改革プラ



旧清川中学校

り壊し等37施設で合計無償譲渡等37施設、取 施設の見直し方針に をいただきながら公共 広げ、ご理解とご協力 沿って進めます。 参画による協議の輪を のもあり、今後は市民 74施設であり進捗率45 して利用されているも 4%です。 平成26年5月現在 市民の身近な施設と



市長



速藤

市民クラブ

声があるがどうするの 使わせて欲しいという ブリュッケン城を早く 今年の3月末から使用 禁止の大型の複合遊具 事故が起きたとして、

市長

が、平成21年度に経済 遊具の撤去も検討した る費用対効果を考え、 事故 維持管理費におけ へのリスクが低

る公園づくりを。 市内外の方に魅力あ

市長

るような公園づくりが 民が楽しみ、 必要であると考えま が滞在時間を多く持て 充実を図りながら、 既存施設の見直しや 市外の方 市

うこととしました。 の計画どおり改修を行 ることなどから、当初 れば国費の返還が生じ を行っており、撤去す 対策事業で大規模改修



当初の計画どおり改修を

制度の在り方を検討 ~



三重総合高校

い。資格要件の見直しは、ここ2年利用がな ※三重総合高校奨学金・ 入学準備金貸付金制度 援するために創設した ではなく給付したらど 市内唯 入学準備金も貸付 の高校を支

について検討したい

答 教育長

れ

制度の申請状況等を精 学準備金制度の在り方 重総合高校奨学金・入 査、勘案しながら、 た高校生等奨学給付金 本年度から設けら

 $\equiv$ 

※三重総合高校奨学金・入学準備金貸付金制度=市内唯一の高等学校である三重総合高校への就学を支援するため、修学・入学準備に必要な資金を貸 し付ける制度。平成23年度から開始した。

## 葬儀に市長夫人が

ないと考えています。

もそういうところを目

後新たな補助制度を通

は考えていません。今

じて事業継続を行う。

段階でこの成果の公表

ていません。また、現

経営規模確認はでき

商工観光課長

ごもっともで、今後

副市長

指して入札委員会も

きたいと考えます。 しっかりと審議してい 公職選挙法に抵触しないと考える

ない見解でよいか。 代理出席は法に違反し 確認です。葬儀参列の も影響がありますから 公職選挙法に抵触し 選挙管理委員会事務局長

私自身の政治活動に

令遵守の整備を行って チェック機能を伴う法 の組織づくりを行い、 透明性の高い契約制度 う結果がある。公正で はどうか。 満足度は一番低いとい ついての重要度は高く モラル、資質の向上に ト調査でも行政職員の



会

約のガイドラインがそ

な疑念があり、

随意契

ル事業の手法には大き

食のモデ

職員研修、

## めに拡大解釈されていのルールを逸脱し恣意!

る。また、市民アンケー

終報告はどう市民に伝 創造事業の中間及び最 経営規模や、 わっているか。 |栽培を始めた12名の 地域雇用

厳しい環境の中で椎

りになる。この事業そ のものがセミナーだけ がおろそかではないか。 人の継続は横のつなが 事業継続ということ



健康づくりの基本

豊後大野野菜博士養成セミナーの様子

ある。 らであり具体的行動を 当にやるときはこれか 継続することが必要で に終わる危惧があり本

※地域雇用創造事業=国の委託事業で事業実施期間は3年度間を上限とし、豊後大野市では平成23年7月に豊後大野市雇用創造協議会を設立し、平成23年12月から豊後大野市雇用創造プロジェクトを実施した。

参加者同士とのネットワークで

新しい活動を発展



## みね で映

は将来どのように推移性管理職の占める割合

豊後大野市役所の女

するのか。

## ふるさと納税の本市における重要度は

~ 財源確保の上で大変重要

## 財政課長

います。 お礼の品として送って る乾椎茸や高糖度甘藷 は、 いただいた市外の方に 甘太くん」を中心に 1万円以上の寄附を 市の特産物でもあ

どのような特典を考え ているか。 いでいますが、 と納税の特典に力を注 各自治体は、 本市は ふるさ

## 女性の更なる活躍促進は

~ 実践的活動の取り組みが必要

総務課長

あります。

事を行っていく必要が

適材適所の人

もあり職員の意識改革

職員が少ない等の要素 命候補者層に該当する 数が少ないことや、任

と考えます。 後も考慮していきたい 女性管理職の登用は今 は上げていませんが、 数値目標は現時点で



る考えはないのか。 という数値目標を決め 管理職を何年まで何人 本市において、女性





して女性の占める絶対

市長



使用禁止状態をこれ以上継続できない ~



ブリュッケン城(リバーパーク犬飼)

以上継続できないとの の使用禁止状態をこれ 見合わせましたが現状 の事情により、 判断から、当初計画ど 施すべきですが、諸般 どおりに改修工事を実 おり改修を行います。 本来であれば、 実施を 計



## 商工観光課長

して早急の対応をして 担当課は現状を把握

## 市長の政策活動について

## 政策実現のため機会あるごとに要請活動を

して、 に行かれた事例回数は。 通して要請活動に過去 動を何回行ったか。そ 大分県知事には要請活 地元県会議員を

請活動をしたか。また、

議員にはどのような要 東京出張の際、

国会



うち内 がず 俊 田

緑 政

市長

望を上げる体制をとっ いのが現状です。そこげるのがなかなか難し ています。 や国に対して意見や要 利害に関し協力して県 な連携を保ち、共通の 長会や町村会で、 対して単独で要望を上 地方自治体は、 県下の市町村が市 緊密

すので、 等は、毎年、秋に「知 見交換を行っていま 交換会」が開催されま 事と市町村長との意見 ついて協議されます。 に対しての要望議案に する5議案と、大分県 れ、九州市長会に提出 大分県市長会が開催さ 毎年、春と秋の2回 大分県知事への要望 必ず出席し意

## デル地域育成事業の

政策形成学び実践的な研修を

総務課長

社の講師3名により、平成25年度は、委託会平成25年度は、委託会可能な政策をまとめて から始まり、課題に対の課題を考える」ことは、まず「豊後大野市 内訳は講師謝金、 の政策がまとめられ提 ヨップが行われ、2本 8回の座学やワークシ なっています。 及び資料等の諸経費と 用は300万円で主な 案されました。研修費 して研修生相互が実現 修の具体的 内容



職員研修の様子



容は。 事業展開の活動の流れ 講師等の実施された内 を、また、 モデル地域育成事業の 中堅職員研修、 · 日時、 会場、 食の

查 調査」、「人材育成」に 取り組みました。 形成」、「地域資源調 事業は主として「合意 食のモデル地域育成 「マーケティング





と藤 姓 たっ辰

清風クラブ

## 後の人口動向と将来像

独自のカラーとPRが必要~

民と共有の課題とすべ 題意識を明確にし、市 な問題を提示する。問 地域にとってさまざま

市長

人口減少は自治体、

度の設置、 21人の減少となり、 備を図りたいと考えま のカラーを出し条件整 政策に取り組んできま 費の無料化など独自の ベーションファーム制 支援、空き家バンク制 対策として住宅改修の した。今後は本市独自 合併して9年で43 中学生までの医療 インキュ

と考えているのか。

期になっている。今後 27年度までで見直し時

期的な視点をもって更

統廃合、

長寿命化

担を軽減するため、

長

に総合管理計画を作成 あり平成27年3月まで などを計画するもので の支所はどうあるべき

市長

推進、公共施設の見直 体制づくりを基本的な あり、各地域で同様の サービスの現状維持を ビスの民営化や委託の 考えとし、また、行財 サービスを提供できる 在が依然として重要で の拠点である支所の存 目指していく考えで しも同時に進め、 政改革として公共サー 応するためには、地域 ズに迅速かつ的確に対 多様化する住民ニー 市民

必要であり第二次豊後

市民を交えた議論が

まちづくり推進課長

から取り組みたい。 大野市総合計画で正面

> 第一次総合計画は平成 年度までで、あわせて ンの計画期間は平成26 第二期集中改革プラ 向は。

総合管理計画策定の動 請のあった公共施設等 本年4月に国から要

体を対象とし、財政負 設及び橋、上下水道な どのインフラ資産等全 建築物などの公共施



大野支所

収集の成果物は、 3000円で行われた 光資源の調査・情報

会で活用していきたい。

きるようにしては。 書館等での貸出しがで オやDVDにして、 作された番組を、ビデ ケーブルテレビで制

れる仮称ツーリズム協

雇用創出事業869万

査であり、

今後設立さ

図

の活用を目的とした調

本事業は観光資源

緊急

## 平成23年度に※

## \*

~無駄にならないよう、 活用する。

> 目的を達成すべきでは。 書籍化を行い、 市長 事業の



神志那文寬

日本共産党

の刊行物、 要です。文化財は既存 ジ上で提供しています。 観光協会のホームペー て発信できるものは、 容・表記等の精査が必 査・情報収集の内容は、 般的な観光情報とし この事業で行った調 専門的な情報は、内 資料等を含

めて書籍化を検討した

検討を進めている ~

延べ273日間放 18本の番組を製作



岩戸の柱状節理とななつ星

館での貸出しができる 件がありますが、多く 製本数の制限など諸条 向けた検討を進めてい 図書システムの実現に ようにすること、 組の複製を視聴できる ますので、自主制作番 の要望が寄せられてい 送しています。 自主制作番組の 音楽の著作権、 図書 複 複



1

ブルテレビ

で

## 戦争体験集を作成し、 戦争体験を未

市報等で戦後 70 周年に合わせた特集を検討する

ので、 集が組めない 後70周年に合わせた特 市報等により戦 かなど、

考えています。 とは困難ではないかと の体験集を作成するこ に作成されたもの以上 したが、現時点で過去 旧千歳村で作成され に旧三重町、旧緒方町、 しかし重要なことな 戦争体験集は、 過去 ま



総務課長

戦争体験や戦時中の らしなどを募集して冊 化を行ってはどうか。 終 書籍の発行、 戦 70周 年を 機 映像 暮



※「里見発見伝」事業=主に文化財、加えて食に関するお店の調査・情報収集を観光協会に事業委託しデータベース化。観光ルート開発や観光まちづくりにつながる情報発信により、交流人口の増加を図ることを目的に実施。 ※緊急雇用創出事業=国が失業者対策のため創設した事業。自治体が直接雇用する方法と企業等に事業委託して雇用創出する方法とがあり、平成 23 年



## なり成 あき昭 は義

市民クラブ

## 社会福祉の拠点施設の計画は

要と考えるがその考え 祉の拠点施設建設が必 事業を展開する社会福

重要な福祉施策、

既設の施設を有効利用し対応 ~

地域福祉の担い手とし

高齢化が進む本市では として10年を迎える。 善センターを仮事務所

務所は三重農村環境改社会福祉協議会の事

## 社会福祉課長

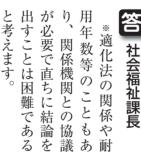
必要で社会福祉協議会 増加し、一層の充実が に対するニーズは年々 社会福祉、地域福祉

> 効利用し、地域住民の せん。既設の施設を有 のところ計画していま 移する本市では、現在 も財政状況が厳しく推 拠点施設の建設は今後 ています。社会福祉の 不安や相談に迅速に対 たいと考えます。 応できるよう取り組み

として認識し、 は重要な担い手の一つ 期待し

ることはできないのか。 ンターを拠点施設とす 三重農村環境改善セ







社会福祉協議会(農村環境改善センター

## 災害時における市の対応のありようは

<mark>~ 危機管理体制の充実・強化を</mark> ~

度改正や県の防災計画 努めています。 ともに、災害対応を検 の見直しを注視すると 機関と連携をとりなが 団、警察等の防災関係 伝達を行い、県、 災害状況の情報収集・ に災害応急対策が実施 がある場合は、 は災害の発生する恐れ 実・強化を図ってい 証し危機管理体制の できるよう、気象及び また、国の法律・ 災害が発生し、 的確な防災活動に 速やか 消防 また

※適化法=補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律の略。補助金の不正受給や目的外使用を禁じた法律。

制

き 充



の対応の在り方は。 災害時における本市 ついて

※その他の質問

食のモデル事

,業に

立性について

公務員の政治的

中

## 浄化槽の清掃・汚泥の処理を

<del>-般廃棄物の適正な処理に万全</del>を期して取り組む

市民の間にあるが市長 きではないかとの声が で料金を安くさせるべ 業者を競争させること で行うことに対して、 の処理を一社独占体制

浄化槽の清掃・汚泥



ゆう優 かわ の野

政

あり、 される必要がありま な公共性の高い事業で 続的かつ安定的に確保 適正な運営が継

す。 基づき、 理されており、新規の 業の許可を行っていま の 一 ページでも公表してい 許可は行わないとの方 的に円滑かつ適正に処 般廃棄物処理計画に 現行の体制で安定 般廃棄物収集運搬 処理区域内 市のホーム

民の生活に必要不可欠 般廃棄物処理業は、 本市では豊後大野市 し尿・汚泥などの 住

札を行わず、随意契約の浄化槽については入 るのに、 薬等)は入札によるべ の浄化槽の保守点検(投 わせている。 で独占業者に管理を行 者であれば自由に行え 守点検の認可を得た業 市の公共施設 市の施設

化

す。 め ら、 放流水の適正な水質帯が必要であり、その と清掃業務は密接な連 努める責務がありま 水の水質を確保するた正に維持し、その放流 の水質保全等の観点か 確保のためには、 適正な維持管理に 浄化槽の保守管理 浄化槽の性能を適

槽の管理 は、

市長

生者であ

る市は、公共用水域等 浄化槽 ( の管理 検及び清掃業務を一括槽の管理契約は保守点 して行う必要があり

市では浄化槽保守点検以上のことから、本 契約を締結し、 受けている業者と随意 つ清掃業の市長許可を の知事登録を受け、 の維持管理を行って 浄化槽 か



白鹿浄化センター

するための方針等が明記されて

課題を挙げ、

それぞれに最適化

点から公共施設マネジメントの

とされ、品質、

供給、

財務の視

して機能の維持・更新のための 施設の老朽化対策、耐震化、そ 市と同様に財政運営の厳しさ、 用を開始するとのことです。本

額の費用の必要性などがある

## 総務常任委員会

## マネジメント指針について 自主防災組織と公共施設

どを協働で進めています。 演会の開催、 ど防災意識の啓発、研修会や講 防災ネットワークうべが設立さ それをきっかけに、NPO法人 ア活動が高く評価されました。 防災啓発番組を放映するな 市民の自主性、 で大きな被害を受けた 防災教材の作成な 平成11年の台風 ボランティ

## 協働アクションプラン

けて、 生と市民活動団体の活性化の2 ションプランでは、「未来にむ 条例を具体的、 ることを目的に、長門市みんな とで住むことに喜びを感じ、 ぞれが考え協力し、 と市の責務を明らかにし、それ 市民活動団体及び事業者の役割 つを柱に取り組んでいます。 して、弱体化した集落機能の再 長門市が目指す市民協働の姿と 月に策定されたながと協働アク る行動計画として、平成26年2 で進める市民協働によるまちづ れる豊かな地域社会の実現を図 くり条例を制定しました。その やろうやあ」を合言葉に、 市民、地域コミュニティ、 は、平成24年7月に、 計画的に実現す 行動するこ 誇 長門市

> 2特別委員会から委員を1名ず 万里市議会の編集委員会 3 常任委員会·議運

委員会報告は自主性や個性を

ら編集発行しています。第1回 写真撮影まで全てを議員みずか

目の編集会議では前号の反省を

次号へと生

運営委員長を加えた8名で構成

で構成されています。

し、原稿からレイアウト、

取材、

議員手づくりの議会だよりと

常任委員会から選出された8名

別委員会は、

各会派及び

賀市議会の議会報編集特

平成 26 年 7 月 24 日 を組み、 としています。 な限り、 を前面に出し、 案審査の経過である委員会報告 へ掲載しています。また、可能 こだわっている点として、 市民に分かりやすい表 旬な案件について特集 一般質問は後方

> かしています。 1ページずつ行い、

動の紹介や議会からのお知らせ ため、裏表紙を活用して市民活 いった議会の話題を特集するほ 特徴として、 市民登場企画の強化をする 手にとってもらえる 議会基本条例と

議会報編集マニュアルを作成し 新しい委員が誰でも編集発行で ているとのことです。 広報紙を目指しています。 また、長年の経験を蓄積 、さらに成長し続けるために

つ選出し、 顧問の副議長・議会

や議会運営に生かします。

されています。 生かすためにスタイルを不統

現を心がけているとのことで



古賀市

ネジメント指針を、9月からは

マニュアルを策定し、

1月に運

書を策定。

平成26年5月にはマ

設カルテの作成及び公共施設白

ついては平成25年3月に公共施

公共施設マネジメント指針に

議会広報編集特別委員会

21 議だめ 声のかけ橋 (第42号2014.11)

## 厚生文教常任委員会

## 自治体病院を地方独立行

## |認知症対策の取り組み

## 政法人へ

と府中総合病院として平成 4月1日開院しました。 市病院機構とし府中北市民病院 地方独立行政法人を選択した 法人に基づく経営形態を 中市では、 地方独立行政法人府中 地方独立行政

府中市

政法人化が最適であると判断し

たとのことです。

とから、

経営形態は地方独立行

的な経営を行うことができるこ 高め公営企業として、より民間 迅速な経営判断と経営自由度を

平成 26 年 7 月 31 日~8 月 1 日

化されているとのことです。 の集まる場がつくられ、 域の実情に合わせた認知症予防 で認知症への関心が高まり、 人によって開催されているそう 事業の成果として、 既存のつながりも 地域の中につな 地 地域 域 0 地 0)

ミュニティ単位で認知症講演会 を目的に、 安心して暮らせるために、 のこと、 や相談会を開催し取り組んで 予防コミュニティ事業とし、 るみで介護予防を推進すること の自主的な活動を通じて地域ぐ も住みなれた地域で自分らしく ないようにすることはもちろん 症の理解を深め、 亀市では、 認知症になった場合に ついて、 平成19年度より介 地域全体が認知 認知症になら 知症対策 住 コ 護

会活動報告

広島県府中市

由では、法人化することで、

## 平成 26 年 8 月 25 日 給食調理場を対象に所管事務調査

## 重学校給食共同調理場及び西部学校給食調

🔺 理場を対象に所管事務調査を行いました。 調査内容は、調理場の概要、運営状況、学校(地 域)における食育の取り組みなどについてです。 実際に現地に出向き、それぞれの職員より説明を 受け、質疑や意見などが活発に出されました。そ の後、調理場内を視察しました。



三重学校給食調理場

## 市民病院、高齢者福祉課を対象に所管事務調査

平成26年7月17日

政の課題に適切かつ迅速に対応するため、 市民病院と高齢者福祉課を対象に所管事 務調査を行いました。

調査内容は、市民病院については公営企業法と 地方独立行政法人法に基づく病院経営の相違点 を、高齢者福祉課については市の認知症対策の取 り組みについてです。それぞれ担当課長から詳細 な説明を受けた後、委員からさまざまな質疑や意 見などが活発に出されました。



市民病院、所管事務調査の様子

## 平成 26 年第3回臨時会の報告

## 「イオマス発電所用地として処分

8月6日(水)に第3回臨時会が開催され、一般会計補正予算の専決処分(700万円追加) や木質バイオマス発電所用地として造成した土地を事業者に売却するための財産の処分 として承認1件、議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

## 各議員の議案に対する賛否の状況

小野泰秀議員は議長職のため表決権はありません。 ※○=替成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 除=除斥

会派名	二字	4.未				緑耳	女会					清	風ク	'ラ	ブ			市瓦	[ク]	ラフ	P		
議員名	議決	議決	首藤	小野	長野	沓掛	衞藤	内田	小野	川野	髙山	佐藤	渡辺	生野	宮成	佐藤	衞藤	恵藤	宮成	朝倉	工藤	神志	赤峰
件 名	結果	月日	正光	順一	健児	義範	正宏	俊和	勇治	優治	豊士	辰己	一文	照雄	寿男	徳宣	竜哉	千代子	昭義	秀康	友生	那文寛	映洋
平成 26 年度豊後大野市一般会計補正予算 (第 3 号) の専決処分	承認	8月 6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	欠	欠	0	0	0	0	0	0	0
財産の処分 (木質バイオマス発電所用地)	可決	8月 6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	欠	欠	0	0	0	0	0	0	$\circ$

## 議会日誌

## フ月

- 2日金 議会広報編集特別委員会
- 7日(月) 議会活性化委員会
- 14日月 議会広報編集特別委員会
- 16 日冰 千葉県南房総市議会行政視察来庁
- 17日休 総務常任委員会行政視察 (山口県宇部市)

厚生文教常任委員会所管事務調査

- 18日 金 総務常任委員会行政視察 (山口県長門市)
- 22 日火 議会活性化委員会
- 24 日休 議会広報編集特別委員会行政視察 (佐賀県伊万里市)
- 25 日金 議会広報編集特別委員会行政視察 (福岡県古賀市)
- 30 日冰 議会運営委員会
- 31 日休 厚生文教常任委員会行政視察 (広島県府中市)

## 8月

- 1日 厚生文教常任委員会行政視察 (香川県丸亀市)
- 4日(月) 大分県市議会議長会理事会・議長 研修会(大分市)
- 5日以豊後大野市議会正副議長等と 商工会役員との懇談会
- 6日冰第3回臨時会 議会活性化委員会
- 21 日休 議会活性化委員会
- 25 日月 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 26 日(火) 議会運営委員会
- 27 日 大分県議会議長との意見交換会
- 29 日金 議会運営委員会

## 9月

- 2日以本会議 (開会)
  - 議会広報編集特別委員会
- 5日金 議会運営委員会
- 8日月 本会議 (一般質問)
- 9日火 本会議 (一般質問)
- 10日冰 本会議 (一般質問)
- 11日休 本会議 (議案質疑) 議会活性化委員会
- 17日冰 常任委員会(付託議案審査)
- 18日休 常任委員会 (事務事業評価)
- 19日 常任委員会(事務事業評価)
- 22 日月 決算特別委員会(一般会計)
- 25 日休 決算特別委員会 (特別会計)
- 30日(火) 本会議 (討論・採決)

議会活性化委員会

## ジオパーク学習をして

市民皆さまの思いを紹介

昨年、豊後大野市はジオパークの認定を受けました。それを知っ たとき、みんな大喜びしました。私も「やった」という気持ちと、ほっ とした気持ちで胸がいっぱいになりました。清川小学校の5年生と 6年生は、昨年、ジオパークの学習に取り組みました。歴史民俗資 料館の高野さん、豊田さんにジオパークの意味や豊後大野市の自然 や歴史について教えていただきました。私たちの清川町にもたくさ んの自然遺産があって、とても貴重なものだと知りました。

私が一番驚いたのは、轟橋と出合橋のアーチの幅が全国1位と2 位ということでした。また、豊後大野市は、約9万年前に阿蘇山が 噴火して火砕流が固まってできたことも初めて知りました。姫島小 との交流も忘れられない思い出です。ジオパークの学習を通して、 豊後大野市のよいところをたくさん知ることができてよかったです。 これからもいろいろ勉強していきたいです。



清川小学校 6年

ななる 和 H

## 生き方を学ぶ~農楽校と出会って



三重中学校 3年

善 後 藤 舜

副委員長 広報編集特別委員会 映勇俊秀洋油和康

子ども農楽校とは、豊後大野市の小中学生が農林業を体験し、緑 の大切さや農林業の素晴らしさを学ぶ学校です。

農業をしている祖父の影響で、僕は農作業をすることが以前から 好きでした。だから、農楽校の募集があったとき、僕はすぐに興味 を持ち参加を決めました。

農楽校の活動は、清川町の花屋さんの苗作りを見学したり、桃の 収穫を体験するような簡単な活動ばかりではありません。小雨の中 での田植えや強い日差しの中での草取りのようにきつい作業もあ りました。

僕は農楽校の活動の中で、祖父の手伝いでは気付いていなかった 農業のきつさを学びました。でも、活動が大変だったことで、終わっ たときの達成感の大きさも見つけました。また、農楽校の先生方は くわの使い方一つから丁寧に教えてくれる優しい先生方です。僕も 誰かに根気よく物を教える力や見えない所での優しさを持つ大人 になりたいと思います。

## 傍聴してみませんか?

次回 12 月定例会は、11月28日に開会予定です。

手続きは、受付にて住所と名前を書くだけです。 Tel 0974-22-1001 お気軽に議会事務局にお尋ねください。 市内無料電話 9-22-1001